

活動テーマ(R6 年度部会活動案)と取組体制

令和5年度に設けた「景観・歴史文化部会」と「暮らし・生活環境部会」の2つの部会を継続し、テーマ活動を中心に活動する。

(1)部会テーマ活動

■R6 年度テーマ活動 (案)

令和5年度の4つのテーマ活動のうち、「地域資源案内検討」「地区交通の検討」は引き続き各主体が連携して取り組むことが必要である為、令和6年度のテーマ活動はこの2つに絞り、回数を増やして実施する。

なお、「ニシカタ地区まちなみづくり検討」「龍潭周辺の全体利用のあり方検討」は、令和5年度の成果を踏まえて所管する主体において継続して事業を推進する。進捗について、部会や協議会にて適宜報告等を行う。

部会	担当分野	テーマ活動案の趣旨	呼びかけ人(主担当(案))
景観・歴史文化部会	(1)古都首里を感じられる空間の創出 (2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	地域資源案内検討 ・地域資源を確認しながら、首里エリアのサインの考え方を整理する。 ・点在する地域資源等の案内や誘導の考え方には、生活エリア(路線)と観光エリア(路線)のゾーニングや、望ましい周遊のあり方も踏まえる。	地域 沖縄県 那覇市
暮らし・生活環境部会	(3)暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり	地区交通の検討 ・地区の交通安全や渋滞対策、周遊検討などにおいて基本となる、生活エリア(路線)、観光エリア(路線)、交流エリア(路線)など地区のゾーニング検討を引き続き行う。	沖縄県 地域 那覇市 ※ 公園利用者交通対策=県 生活道路交通安全=市 送迎など住民の交通行動=地域

令和6年度首里杜地区まちづくり協議会 テーマ活動シート【基本情報】

テーマ	地域資源案内検討
-----	----------

■ テーマ活動の基本情報

部会	景観・歴史文化部会	
担当分野	(1) 古都首里を感じられる空間の創出 (2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	
関係ロードマップ	No14：近現代の歴史文化資源（戦跡含む）の調査 No21：地域資源の調査及び修景等 No32：サスティナブル、レスポンスブル、ユニバーサルツーリズムの推進 No37：まちあるき観光の促進	
活動体制	メンバー	首里まちづくり研究会、地域住民（首里杜地区まちづくり団体連絡協議会構成員・自治会等） 市文化財課、市観光課、市観光協会、研究者・学生 県首里城復興課、県都市公園課、県文化財課 ほか
	呼びかけ人（主担当）	企画運営担当：地域事務局 サポート：各事務局
ゴールの設定 （テーマ活動の目的） ※呼びかけ人が案を作成し、参加者間で確認して更新する。	・首里杜地区における案内板やサインのグランドデザインを策定整備の考え方を整理し、調和がとれた機能的なサインにより、来訪者や地域の子供たちが首里をよりよく知ることのできる環境をつくる。	
今年度目指す具体的な成果	・地域資源抽出のための評価基準（R5年度テーマ活動成果）をもとに、サイン整備対象候補を整理し、設置に向けて各主体へ共有、提言する。	
今年度の活動内容	・地域資源抽出のための評価基準（R5年度テーマ活動成果）をもとにサイン整備対象候補を整理する。（※事務局作業） ・現地案内板以外の案内手法を整理する。（※協力団体or事務局作業） ・自治会等に考え方と候補を示し、地域住民とともに優先的に整備するもののリストを確認する。 ※交通部会で扱うゾーニングとも関連するため、自治会等を対象とした活動は連携して行う。	

（赤字：R5年度活動企画と異なる部分）

令和6年度首里杜地区まちづくり協議会 テーマ活動シート【活動企画】

テーマ	地域資源案内検討
-----	----------

■テーマ活動の企画

活動回数		計4回
第1回 ～ 第3回	活動内容	サイン整備優先対象の地域資源リストを、各地域自治会とともに確認する。また紹介の際のポイント等を聞き取る。 第1回：金城町・寒川町エリア、第2回：三箇エリア、第3回：ニシカタエリア（順序変更有）
	獲得成果のイメージ	評価分類リストによる地域資源分布MAP（色分け版）の作成
	活動場所	ニシカタ：首里公民館、三箇：赤田クラブ、金城町等：養秀館 など
	活動日時・時間帯	7月～9月内に開催、平日夜または休日の日中（2時間）を想定
	必要な資材等	地域資源分布マップ、評価分類リストたたき台、案内ツール紹介資料
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 自治会ごとにテーブル分けし、ワークを行う。 本ワークの前に、交通ワークを同様の単位で行う。（歩く周遊を前提に、積極推奨路線／条件付き路線／原則入ってほしくない路線 を色分けする）
第4回	活動内容	地域ワークの成果を統合し、確認する。サイン整備にむけた基本的な考え方をまとめる。
	獲得成果のイメージ	各事業主体がそれぞれ整備する場合も整合のとれたサイン整備が実現するよう、サイン整備の優先対象や案内手法の考え方をまとめる。
	活動場所	首里公民館会議室
	活動日時・時間帯	11月内に開催、土日いずれか、14:00～17:00を想定
	必要な資材等	PC及び画面投影機材、マイクスピーカー、紙配布資料
	その他	「望ましい周遊」を踏まえて議論する
参加呼びかけ対象		<p>【第1～3回】地域自治会（ニシカタ：汀良、当蔵、赤平、儀保、真和志、大中、池端、山川、桃原）（三箇：鳥堀、赤田、崎山）（金城町等：金城、寒川、松川）、協議会事務局</p> <p>【第4回】地域住民（首里杜地区まちづくり団体連絡協議会構成員・自治会等）、県首里城復興課、県文化財課、市都市計画課、市文化財課、市観光課、市観光協会、美ら島財団、大学・研究者、SCSKほか</p>
分担	活動企画提案	地域団体事務局（すいまち研）
	協議会メンバー以外への呼びかけ方法	すいまち研⇒地域団体・地域住民 沖縄県事務局⇒SCSK、美ら島財団、大学関係 那覇市事務局⇒市観光協会
	会場・資材等手配	地域団体事務局（すいまち研） ※PCやマイクなど一部機材は各事務局へ借入協力依頼
	当日運営	事前のフィールドワークと現状MAPまとめ：すいまち研 各回活動：すいまち研仕切り。資料出力・機材手配などは事務局で分担
	記録	すいまち研にて実施レポート、仕分けリストを作成 国建事務局にて録音、議事録作成を支援

令和6年度首里杜地区まちづくり協議会 テーマ活動シート【基本情報】

テーマ	地区交通の検討（観光交通コントロール／地区ゾーニング）
-----	-----------------------------

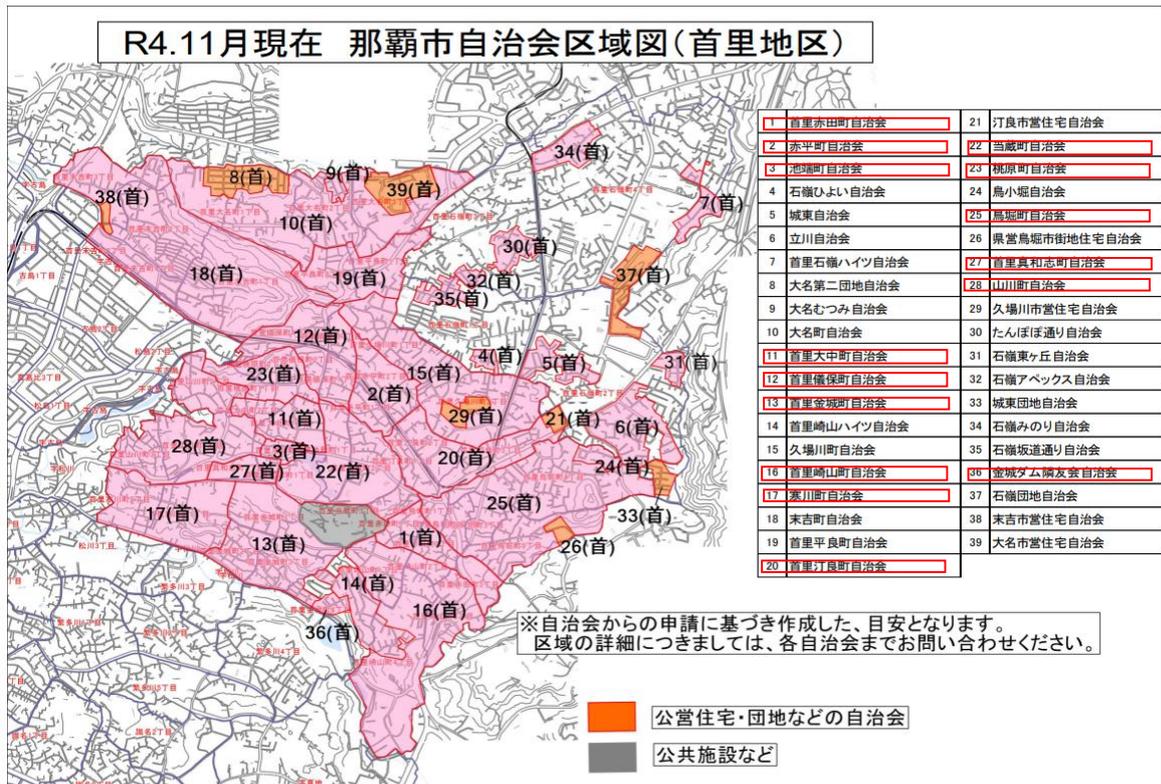
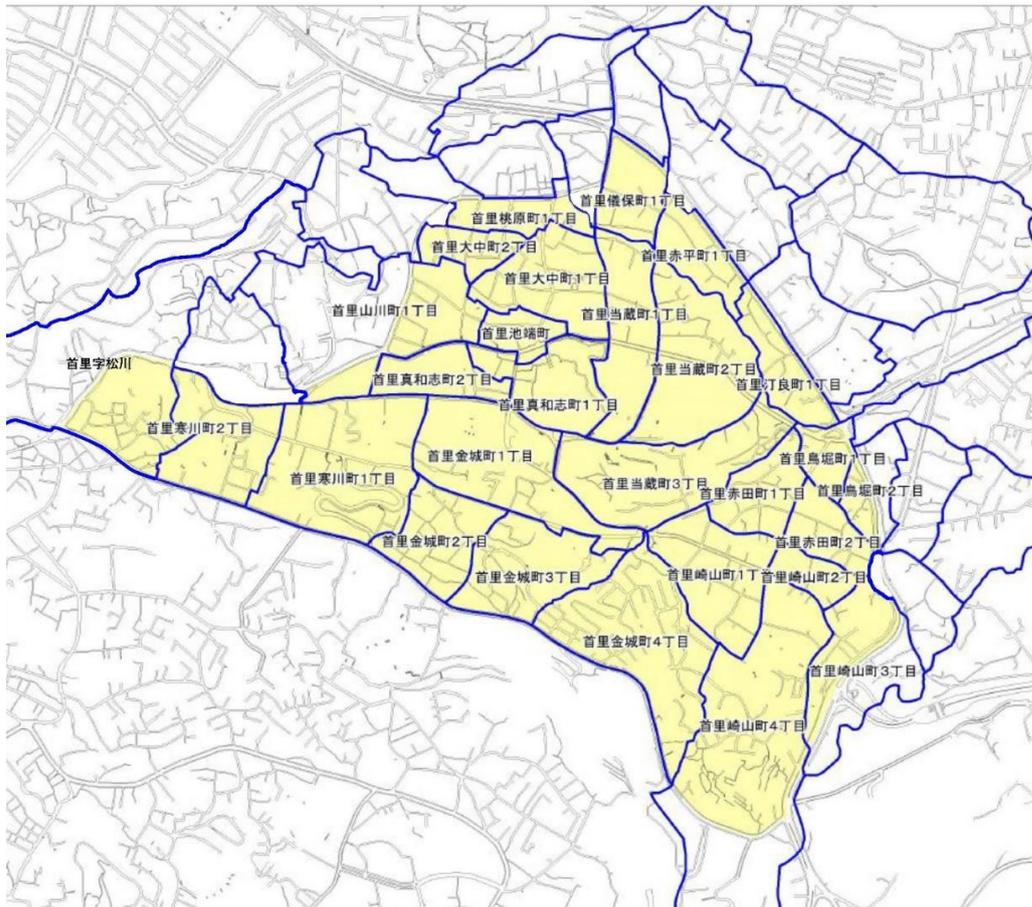
■テーマ活動の基本情報

部会	暮らし・生活環境部会
担当分野	(3) 暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり
関係ロードマップ	No31：観光客の受入体制等の整備（DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等） No30：モビリティ・マネジメント 等 No37：まちあるき観光の促進
活動体制	メンバー 首里まちづくり研究会、地域住民（首里杜地区まちづくり団体連絡協議会構成員・自治会等） 県首里城復興課、県都市公園課、市都市計画課、研究者・学生 ほか
	呼びかけ人（主担当） 企画運営担当：県事務局、地域事務局 サポート：各事務局
ゴールの設定 （テーマ活動の目的） ※呼びかけ人が案を作成し、参加者間で確認して更新する。	<ul style="list-style-type: none"> ・首里城周辺における交通混雑等の状況を踏まえ、地域住民及び観光客の安全性の確保、利便性向上等の観点から、首里杜地区全体におけるよりよい交通環境を創出するための施策について検討する。 ・公共交通の促進に資するため、持続可能な公共交通のあり方についてとりまとめる。
今年度目指す具体的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・首里杜地区における交通課題解決に向けた対応策等について各主体で共有し、改善・発展を図る。 ・暮らしと観光の両立に向け、すみ分けの前提として道の性格付けを行い、地域と共有する。
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県で実施中の交通関連調査検討内容やバス予約システムの効果・状況について共有する。 ・歩いて体験する観光への転換に向け、広く紹介する路線と生活優先の路線を区分する。これを地域密着型ワークショップによって行う。 ※景観・歴史文化部会における、資源活用の分類とも関連するため、自治会等を対象とした活動は連携で行う。

令和6年度首里杜地区まちづくり協議会 テーマ活動シート【活動企画】

テーマ		地区交通の検討
■テーマ活動の企画		
活動回数		計4回
第1回～第3回	活動内容	①趣旨説明 ②交通課題と取り組み状況について簡潔に報告 ③歩く観光への転換を目指す環境整備を、生活環境に配慮した形で行うため、参加者にて「道」の色分けを実施 ④地域の交通課題について意見交換
	獲得成果のイメージ	・路線ごとの色分けMAP作成（観光周遊ルートの候補となる道／プライベート色の強い道）（積極推奨路線／条件付き路線／原則入ってほしくない路線）。 ・これまで協議会等に参加していない地域住民の意見の収集。
	活動場所	ニシカタ：首里公民館、三箇：赤田クラブ、金城町等：養秀館 など
	活動日時等	7月～9月内に開催、土日いずれか、14:00～17:00を想定
	必要な資材等	地域の道色塗りマップ（たたき台）、マーカー・付箋紙など
	その他	・自治会ごとにテーブル分けし、ワークを行う。 ・本ワークの前後に、地域資源ワークを同様の単位で行う。（歩く周遊を前提に、誰にでも広く案内したい入門編資源／中級編資源／上級編資源を色分けする）
第4回	活動内容	①地域ワークの成果を統合し、確認する。ゾーニングの基本的な考え方をまとめる。 ②交通課題に関する意見交換を行う。 ③各地域で具体提案等（一方通行化など）があればその共有・議論
	獲得成果のイメージ	・ゾーニング方針作成 ・今後の取り組みに向けた意見
	活動場所	首里公民館会議室
	活動日時等	11～12月内に開催、土日いずれか、14:00～17:00を想定
	必要な資材等	塗分けマップ、PC及び画面投影機材、音響機材
	その他	「地域資源案内」とともに議論する
参加呼びかけ対象		【第1～3回】地域自治会（ニシカタ：汀良、当蔵、赤平、儀保、真和志、大中、池端、山川、桃原）（三箇：鳥堀、赤田、崎山）（金城町等：金城、寒川、松川）、協議会事務局 【第4回】地域住民（首里杜地区まちづくり連絡協議会構成員・自治会など）、県交通政策課、市都市計画課、市道路管理課、市観光課、研究者・学生、SCSKほか
分担	活動企画提案	地域団体事務局（すいまち研）
	協議会メンバー以外への呼びかけ方法	すいまち研⇒地域団体・地域住民 沖縄県事務局⇒SCSK、美ら島財団、大学関係 那覇市事務局⇒市観光協会
	会場・資材等手配	地域団体事務局（すいまち研） ※PCやマイクなど一部機材は各事務局へ借入協力依頼
	当日運営	各回活動：すいまち研仕切り、紙資料出力やプロジェクター機材手配などは他事務局の応援を依頼
	記録	すいまち研にて実施レポート、仕分けリストを作成 国建事務局にて録音、議事録作成を支援

エリア区分参考図



(2)取組み体制

令和 5 年度のテーマ活動や部会を通して、

- ・地域住民のより多くの参加が必要
- ・地域活性化や周遊促進には地元事業者の存在が重要
- ・研究・教育機関の役割

などの意見があった。

令和 6 年度のテーマ活動は、伝えたい地域資源や来訪者の受け入れ方などについて、より地域密着型で各自治会が関わる必要があるとの認識から、エリア別の実施を計画している。

令和 6 年度第 1 回部会には、自治会長等の参加呼びかけ、地域事業者の参加促進などを積極的に行っていく必要がある。